

## 言語活動の充実に関する実践事例

学校名（東広島市立西条中学校）

- ① 教科等 音楽科 ② 学年 第1学年  
 ③ 題材名 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、音楽のよさを味わって聴こう。  
 ④ 本時の目標 「四季」より「冬」の音楽を形づくっている要素を知覚し、要素や構造と曲想の関わりを感じ取りながら紹介文を書き、楽曲のよさや美しさを味わって聴く。  
 ⑤ 学習の流れ （3時間目／全3時間）

学習活動	指導上の留意点	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1. 曲名を知らせず、「冬」の第1楽章を聴き、感じたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明なしで聴かせ、曲の特徴や雰囲気を感じ取らせる。</li> <li>「四季」のいずれかの季節であることを伝え、「春」の第1楽章と比較しながらどの季節か考えながら聴かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(ワークシート、発表)</li> </ul>
2. 本時のめあてを確認する。	音色・旋律・リズム・テクスチャ・形式に着目して、「冬」を味わって聴こう	
3. 第1楽章を聴き、特徴をワークシートに沿ってメモし、グループで交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の第1楽章でまとめたワークシートを手掛かりにしながら、冬の特徴を整理させる。</li> <li>知覚したことと感受したことを分けてメモさせる。</li> <li>曲の特徴を整理することが困難な生徒には、クラスの意見を聞くことで整理させる。</li> <li>必要に応じて、楽曲を部分的に聞かせる。</li> </ul>	
4. ワークシートに曲の紹介文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音色、旋律、リズム、テクスチャ、形式のうち、3つ以上の要素と関わらせて書くようにさせる。</li> <li>自分のおすすめのポイントを入れさせる。</li> <li>書きにくい生徒については「春」の紹介文を書いた流れを参考にさせる</li> </ul>	
5. 何人かの特徴的な紹介文を聞き、意見交換する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>要素の働きを的確に捉えた紹介文を発表させ、要点を板書する。</li> </ul>	
6. 第1楽章を聴き、学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて紹介文に加筆させる。</li> </ul>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 音楽の要素の特徴や楽曲のよさを紹介文にまとめる際、着目する要素を絞って提示する。  
 ○ 発表させる紹介文は、文章の長さや上手さではなく、要素の特徴を的確に捉えたもの、自分なりの解釈や価値を書いているもの等を選択する。